

ソウル女子大学附属花郎小学校における英語教育

English Education at Hwarang Elementary School Attached to Seoul Women's University

塩見 和広

要旨

2011年に小学校での英語教育を取り入れた日本より、さらに10年以上前から韓国では小学校英語教育に取り組んできた。中でもより先進的な小学校英語教育を行っているソウル女子大学附属花郎小学校(以下、花郎小学校)の取り組みから学ぶことは多い。2020年度から小学校3、4年生では「聞く」「話す」を中心に、5、6年生ではそれに「読む」「書く」の技能を加え4技能の充実を目指そうとしている。花郎小学校での英語教育の変遷を見ると、日本の小学校英語教育が10年先にもどのように変わる可能性があるのか、そしてよりよい児童英語教育の在り方とは何かを探るヒントが見えてくる。

キーワード：韓国の小学校英語教育 花郎小学校 小学校英語教育の方向性

1. 韓国における小学校英語教育の変遷と花郎小学校の関係

花郎小学校の英語教育について触れる前に、韓国ではどのような経緯で英語教育が導入されたのかを、「韓国における小学校英語教育の現状と課題」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語専門部会、2001)の資料で紹介する。

初等学校英語の必修化に関する背景、経緯 初等学校における英語教育は、全斗煥大統領政権下の1981年より教育改革の一環として第4学年以上の児童を対象に「特別活動」のなかで始まった。その後、1988年に軍事政権崩壊を受けて発足した盧泰愚政権下において、英語は学校ごとに自由な学習活動を行うことができる「裁量時間」を利用しながら主に初等学校第5、6学年を対象に実施されることとなった。1994年に韓国が世界貿易機構(WTO)に参加したことがきっかけとなり、金泳三政権下の世界化政策の一環として、初等学校における英語必修化が具体化されていった。すなわち、1995年2月に「世界化(国際化)推進委員会」から、外国語教育の強化プランが同大統領に提出され、このなかで初等学校における英語教育が強調された。同年3月には教育部(我が国の文科省に相当)が「初等学校における英語教科新設のための教育課程改善計画」を発表した。改善計画をめぐる、教育課程審議会の審議に加え、アンケート、公聴会、セミナー等が開催されたのち、同年11月に、1997年から初等学校において英語を正規の必修科目とすること、初等学校第3学年から学年進行で段階的に導入することが告示された。その後2年間複数の研究校において試験実施されたのち、1997年に必修化されたのである。

また、同資料には学校独自の活動として、次の二つの時間を使って英語教育を行うことが可

能だと記されている。

2001年度から開始された第7次教育課程において「裁量時間」が「裁量活動」に称されるとともに従来の週0～1時間から週2時間に拡大されたことに伴い、英語の授業時間数が初等学校第3～4学年では週1時間に減った。なお、第5～6学年では週2時間実施されている。したがって、現在の英語の年間実施時数は、第3～4学年で34時間、第5～6学年で68時間である。その他、希望者を対象に放課後実施されている「特技・適性教育」を活用した英語教育等が行われることがある。この場合の費用は自己負担となっている。

2016年に花郎小学校を訪問した際、1年生から英語教育を行っていたが、その後の法律改正により英語教育は3年生から行うこととなった。2016年3月には、3年生でもかなり英語が理解できているという印象を受けた。しかし、2019年3月では3年生の英語理解力は少し低下しているように感じた。また、放課後の「特技・適性教育」も1、2年生では廃止された（山脇岳志、2019）。これは早期英語教育があまりに加熱し、児童や幼児の負担になっているなどの判断だとされているが、英語教育に力を入れている学校や保護者からの反発も広がっている。花郎小学校は国の方針に従って教育を行っているが、英語教育を学校の特色の一つに考えている学校としては影響が大きい。しかし、Clari Chung 花郎小学校英語科主任からのメール（2020年1月）によると、放課後の「特技・適性教育」は2019年4月に再開されたとのことであった。

2. 花郎小学校の英語教育

この論文は、2016年と2019年に花郎小学校を見学した内容とそこで使用されている教科書に基づいたものである。2019年3月には、新しい校長である Woo 博士と英語科主任の Claire Chung 先生から説明を受けた。

(1) 組織の特徴

花郎小学校は、1968年創立の当初から英語教育を行っていた。しかし、韓国人と英語ネイティブの両方を採用するようになったのはここ20年ほど前になる。具体的には、韓国人の英語専科教員10人、そして英語のネイティブ教員10人で授業を行っていた。韓国人は全て中学校の英語の免許を、そしてネイティブの先生も何らかの教育に関する資格、例えば TESOL¹等を持っていた。一般の小学校だと、担任の先生が英語を教えており、授業時数も年間、3、4年生で34時間、5、6年生で68時間となっている。一方花郎小学校では、Team teaching（以下、TT）の授業が2回、韓国人及び英語ネイティブによる単独授業が3回、合計5回英語の授業を余分に行っていた。つまり、一般の学校よりも5時間多いことになる。

この学校には、専科教員は英語の他、音楽、体育、コンピュータ、ゴルフの担当者がいて、全職員は100人ほどいたので、全員が顔を合わせる機会は少ない。

英語の集中授業を行っている小学校は全国に72校あり、ソウル市内だけでも38校ある。花郎小学校は、38校中5位くらいのランクにあるという。入学への競争率は約4倍となっているとのこと。この子どもたちは裕福な家庭の子どもが多く、幼稚園から英語を勉強したり、塾に通っている子が多いとのことであった。

(2) 施設設備

花郎小学校では、1～3階までは一般教室や特別教室があり、4階には英語科の教室と職員室がある。子どもたちが英語の授業があるときに4階まで行くが、英語科の教員は基本的に4階で過ごすことになる。10人程度入れる教室が10カ所あり、それぞれの教室の入り口には特別な名前、例えば Game zone, Shadow zone, Science room, Home economy, Restaurant, Kitchen 等が記されている。開校当初は、それらの特別教室でいろんな体験ができることを目指していたが、現在ではそれらは教室の一部になっており、子どもたちは半年ごとにそれらの教室を変更していく。それぞれの部屋には、その看板にふさわしいものが置かれている。また、大きな書籍棚にはいろんな読み物が入れられていた。教師用の机と子ども用の二人掛けの机が5つほどあった。

英語科の教員は、1学期に韓国人が英語科の部屋を使い、ネイティブの先生は各教室を専属的に使用する。そして2学期にはネイティブの先生が英語科の部屋を使う。これは暗黙のルールのように行われていた。勿論 TT 等の打ち合わせは頻繁に行っており、英語科全体の会議は必要に応じて毎日または毎週行っている。連絡事項も Kakao Talk でやり取りされていた。

校舎の玄関入り口付近には学年集会ができるほどの広いスペースがあり、その横に事務室がある。生徒数が約600人、教員が約100人の学校ではあるが、事務職員4人だけで業務を行っていた。

(3) 授業の概要

当初は、教科書だけでなく絵本や簡単な読み物を授業の中に取り入れていたが、近年は子どもたちのニーズに合わせてデジタル教材を使用することが多くなった。つまり、「聞く」「話す」を中心にしたコミュニケーション重視の英語教育にシフトした。

ある男性ネイティブ教員によると、コミュニケーション重視の授業であるが、テキストは中心的に使っている。そして独自の教材も多く使っている。しかし、子どもたちはコミュニケーションの授業を一番楽しんでいるようだ。テキストは *Elementary School English* (大手進学塾 YBM 出版)、放課後の「特技・適性教育」の時間に使うテキストは、*All Together* (National Geographic 出版) に代わっていた。

授業は試験の結果によってグレード分けがされていた。3～6年生をそれぞれ10クラスに分けて行い、基本的には学年途中でのクラス替えはない。

この学校では、2週間にわたって English camp を行っており、その場合は校内の施設、例えば、体育館、メディアルーム、サッカー場等をフル活用している。4階の中央には世界地図がかかっている、ホテルのロビーのようなカウンターがあり、そのスペースは英語キャンプの受付等にも活用していた。

(4) それぞれの授業見学から見える特徴

今回見学した授業はそれぞれ工夫されており、日本の英語教育にも大いに参考になるアイデアがいっぱいあった。それらの一部を紹介する。

① ネイティブの女性教員A

- 自分の秘密を紙に書き、他の子どもにそれが何であるかをあてさせるインタビューゲーム。
- Is your secret about animals? Yes / No. Yes. → Is it about a dog? → Yes / No.

② ネイティブの男性教員B

- プリントの問題を使って、三つの内で一番適する物は何かを討論する問題。
- Which is most convenient? Smartphone, telephone, email.

③ ネイティブの男性教員C

- 討論の授業：次の項目について意見を言う問題。
- What did we use before phones to talk to people far away? Smoke signals, letters, mails, radios, telegraphs, pigeon mails.

④ ネイティブの男性教員Dと韓国の先生による TT の授業

- 5枚ほどのカードにはそれぞれ有名人の名前が書いてある。カードの持ち主はその人物になりきって答える。そしてじゃんけんして負けたらそのカードを渡す。クラスの中を回わり、多くのカードを集めた人が勝ち。
- What's your name? I am ○○.

(5) この学校の今後の課題

Claire 教科主任の案内で1時間ほど授業を見学した後、再び校長室で Woo 校長と会談をした。下記は校長先生からの追加の情報である。

- いろんな取り組みを行っているが、全ての保護者を満足させることはできない。
- 英語の授業が他の私立小学校に比べると少ないという意見がある。しかし、他の教科とのバランスで英語の授業を制限せざるを得ない。そして、韓国政府から出されカリキュラムに従う必要があるので、学校独自の特色を出すのに苦労する。
- ここの英語教育はコミュニケーション重視の英語教育を行っているが、保護者の中には進学等のことを考えて、もっと文法指導をしてほしいという意見もある。
- ここでの高い英語教育がその後、高校、大学、将来の仕事にどのように影響を与えているかの追跡調査はできていない。しかし、卒業生の保護者からのフィードバックから判断すると、とても満足していることが伺える。そして英語が好きな状況は続いているという。花郎小学校で学んだ子どもたちが海外で成功しているのを見るとき、保護者はここの英語教育を評価し満足していることが伺える。

3. 花郎小学校での英語のテキスト

(1) *Elementary School English 3*

これは2016年に訪問した際、花郎小学校で使用していた教科である。2019年度には別の教科書になっていた。いずれのテキストも特に英語を習い始めた段階でどのような指導をしているのかを知る上で参考になる教科書となっている。

① 全レッスンの単元は次のようになっている。

Lesson 1: Hello, I'm Tory! Lesson 2: What's This? Lesson 3: Tough Here, Please.
Lesson 4: Happy Birthday! Review 1 Lesson 5: How Many Dogs? Lesson 6: Do You
Have a Pencil? Lesson 7: Look! It's Very Big. Review 2 Lesson 8: I Like Apples.
Lesson 9: I Can Dive. Lesson 10: What Color Is It? Lesson 11: How Old Are You?
Review 3 Lesson 12: Who's She? Lesson 13: It's Snowing. Lesson 14: Put On Your
Shoes. Review 4

各レッスンのタイトルだけを見ても次のような文法項目が見られる。第1文型（命令文、canを含む文、現在進行形）、第2文型（疑問詞を含む文他）、そして第3文型が使用されている。これらの中には、日本の中学校で習う構文が入っている。

② 各レッスンの構成は次のようになっている。

1A: Look and Listen B: Listen and Do C: Chant D: Listen and Play 2A: Look and Say
B: Listen and Repeat C: Talk Together D: Song E: Speak and Play 3A: ABC Time
アルファベットの大きい文字と小さい文字を書く。2: 表の中からアルファベットの大きい文字と小さい文字を探す。3: アルファベットの大きい文字又は小さい文字の空いているところを埋める。B: Act and Play。
名刺交換。4: Show Time ターザンとジェーンの5コマ漫画。Check Up 1: CDを聞いて、その内容に合う絵を選ぶ。2: 学んだ表現を使って、絵を参考にして会話をする。3: アルファベットの大きい文字と小さい文字の空いているところを埋める。We Are the World: 4コマ漫画を見てどこの国の挨拶かを聞く。Mission: 初めて会った友達と挨拶をする。

Lesson 1～14は基本的には同じパターンとなっている。Lesson 2からLesson 4まではアルファベットを扱っている。Lesson 5以降は、アルファベットと単語を結び付けたり、単語をトレイニングで書く練習をする。その他の特徴としては、ゲーム（迷路、双六、ビンゴ等）が多い。また、その単元でならった例文を言わせる活動：Listen and Do, Listen and Play, Act and Playがある。Reviewではすごろくゲームがある。単語を書く問題では、図の中から動物の数を選び、その数を書くといった考える問題がある。また2×5の答えを英語で書くといった算数との横断的な問題もある。アルファベットは最初から学習し、読むだけでなく書けることをねらっている。また、このテキストには貼り付けるシールが豊富に用意されており、飽きない工夫がいろんなところでされている。それぞれのドリルには英語のタイトルの横にハングルの説明文が記されているので、子どもたちへの指示はいちいちハングルでなくても良いように工夫されていた。

③ このテキストで扱われている単語は次の通りである。

a, apple, banana, belt, big, bird, birthday, blue, book, box, brother, bye, can, cat, chicken, coat, cold, color, come, cow, cute, dad, dance, dive, dog, doll, down, eight, elephant, eraser, fish, five, four, gloves, go, good, green, happy, hat, have, he, hello, help, here, hi, I, in, like, long, look, luck, make, many, meet, mom, money, Mr. , Mrs. , new, nice, nine, no, now, okay, old, on, one, open, out, outside, pen, pencil, pig, pineapple, play, please, potato,

pretty, put, rain, raining, red, nice, ruler, seven, shark, she, shoes, short, sing, sister, sit, six, skirt, small, snow, snowing, snowman, sorry, stand, sunny, swim, tall, ten, thank, that, this, three, too, tomato, touch, two, up, weather, welcome, whale, what, who, windy, year, yellow, yes, you.

(2) *Elementary School English 6*

このテキストは、英語教育のより高度なレベルを求めて YBM (大手予備校) のを使用してると Woo 校長先生から説明を受けた。

① 全レッスンの単元は次のようになっている。

Lesson 1: I want to be a Cook.. Lesson 2: What Grade Are You In? Lesson 3: What Does She Look Like? Lesson 4: What's the Date Today? Review 1 Lesson 5: I am Stronger than You. Lesson 6: I Have a Stomachache. Lesson 7: How Tall Are You? Review 2 Lesson 8: I Learned about Green Energy. Lesson 9: You Have to Wait in Line. Lesson 10: How Can I Get to the Park? Review 3 Lesson 11: Would You Like to Watch a Movie? Lesson 12: Why Are You Upset? Lesson 13: I Will Join the Tennis Club.

タイトルから文法事項を見てみると、to 不定詞の名詞的用法、what 疑問文、比較級、have to 構文、how 疑問文、would like to の丁寧表現、why 疑問文、will を用いた未来文が用いられている。これらの多くは、日本では中学校以降の文法事項となっている。

② Lesson 13 "I Will Join the Tennis Club" の内容

6年生用のテキストのこの最終レッスンを見ると、韓国の小学校が何を狙っているのを知ることができる。

最初のページには、ハングルで次のように書かれている。「中学校の生活を想像したことがありますか。中学生になったら何をするかみんなと話してみましょ。」英語文としては次の文と単語が書かれている。I will join the tennis club. [learn dancing, study Chinese, join the tennis club, visit France, exercise every day] We'll Learn (このレッスンの目標): 未来の計画について文を読み、自分の未来計画を書く。Story 1: Which Club Will You Join? 中学校になってどんな部活に入りたいかをみてみよう。Listen and Check: Which club will Juho join? 3つの絵(バイオリン、中国語の本、テニスラケット)から選ぶ。Mini Quiz: Sua がテニス部に入りたい理由は何ですか。Mini Talk: 絵を見ながら後について読んでみる。Listen and Do: CDを聞いて、絵の中にある物の順番に番号を付ける。Play Zone 1: テレパシー遊びをしよう。6つの絵を見て友達が考えていることを当てるゲーム。My Active Words: Join a Club Now! 8つのクラブ活動の絵があり、その一つだけが空白になっている。それを当てるクイズ。Chant, Chant: Join! Join! Let's join a club! Which club will you join? I will join the (Chinese) club. I can't wait. Speak Aloud: Which club will you join? I will join the (English, tennis, dancing) club. Play Zone 2: 部活動の会員募集遊び。次の中から好きなクラブを選ぶゲーム: Chinese, English, singing, reading, swimming, basketball,

soccer, running. Story 2: How Do You Say "Hello" in Korean? 5 コマ漫画の中に当てはまる文を入れなさい。It's "Annyeong" in Korean. How do you say "Hello" in Korean? I'll buy some for you. Read Aloud: 絵を参考にして、次の会話文を完成させよ。Which club will you join? I will join the (basketball, baseball) club. How do you say "baseball" in Korean? It's "(yagu, nonggu)." Talk and Talk: 絵を見て、適切な会話文を考える。Play and Act Out: 円盤の中に書いてある単語を入れて会話文を作る。Which club will you join? I will join the (Chinese) club. How do you say "Chinese" in Korean? It's "(junggugeo)." Reading Around Us: 外国人のための韓国語教材を読んでみよう。Let's Learn Korean! How do you say "I'm sorry" in Korean? It's "Mianhaeyo." Read and Talk: よく使う表現を用いてペアで会話をしよう。How do you say "()" in English? It's "()" in English. Read and Write: 絵を見て会話を完成させよう。I'm studying Chinese. I () China next year. How do you () "Thank you" () Chinese? It's "Xiexie" () (). Play Zone 3: 消しゴム回しゲーム。自分の番になったら、適当な文を読む。I will join the (Chinese, English, singing, reading, swimming, basketball, baseball, running) club. Discovery Fun: 探偵Gと一緒に次の文を完成させなさい。Vacation Plans: I will visit England. I will meet my friends. I will learn the violin. I will () soccer. I will () many books. Bridge to Writing: 絵を見て文章を完成させよう。I () be a middle school student. I () join the () club. Writing Space: Think Aloud. 自分が行きたい国とそこでの計画を考えて表を完成してみよう。E.g. France. See the Eiffel Tower. Thank you. Write about Us: 上記の内容に基づいて、旅行の計画を考えるプログ文を書いてみよう。E.g. I will visit () during the vacation. I will (). How do you say "()" in ()? Story Pot: 計画したことがうまくできなかった経験について話してみよう。Happy Girl Emma. Emma is a happy girl. She milks the cows and goes to the market every day. One day, she put the milk on her head and walked to the market. "How much will I get for the milk? I'll get \$10. I'll buy some chickens. The chickens will give me eggs, and then I will sell the eggs. I'll buy a beautiful skirt and a hat. I'll look very pretty." She jumped and jumped. The milk fell from her head. She stopped and looked at the milk. "That's okay. I will milk the cows again." Read and Do 1: Emma が買ったかったものを4つの写真から選びなさい。2: 文の内容を考えながら、表を完成してみよう。Check and Jump A: よく聞いて、書く会話に適切な絵を探して番号を書いてみよう。B: よく聞いて、次に来る応答で適切な言葉にチェックをつけよう。C: よく聞いて、質問に適切な答えを撰んでみよう。Which club will Minhó join? Minhó will join the (skating club, violin club). D: 絵を見て、会話で間違ったところを探してみましょう。This bibimbap is really delicious. How do you say "It's delicious" in Koreans? It's "Masitda" in Chinese. "Masitda!" E: 絵を見て会話文を完成させよう。I will be a middle () student. I () () the French club. I want to learn French. I () wait. Social Studies Capsule: 世界で一番多くの人を使う言語は何か知っていますか。中国語、英語、スペイン語。Project: 外国人のための韓国語初級教材を使って発表してみよう。Now I Can: 未来の計画について問答する事ができる。他の言語で言ってほしいと言われた

ら答えることができる。未来の計画について文章が読めて理解できる。自分の未来の計画が書ける。Review 4: クロスワードパズル。使用されている語: in, sad, say, like, will, help, raise, would pencil, money, Korean, because. 1: 次の単語をパズルから探して次の会話を完成させよう。() you like to () people in need? Yes, I would () to. What can we do for them? We can () () for them. Activity 2: チェッカーゲームをしながら文章を言ってみよう。文章の例: will join soccer. How delicious Korean? Yes love to. Which club join? 等合計32フレーズ。Activity 3: すごろくゲーム: Would you like to come to my house? How do you say "I'm sorry" in Korean? 等合計17文。

③ このテキストで扱われた単語、熟語、そして文は次のようなものである。

airplane, airport, all, answer, April, artist, August, back, baseball player, behind, between, building, busy, by, car, centimeter, cheer, chicken, Chinese, classroom, clock, clothes, club, cook, could, dark, date, December, dentist, doctor, dream, earth, egg, energy, famous, fast, February, fifth, finger, first, floor, forget, fourth, front, gate, girl, give, grade, grandpa, hair, head, headache, health, healthy, heavy, help, high, hospital, idea, January, job, join, July, June, last, learn, lie, light, line, long, lots of, March, market, math, May, message, middle, miss, model, money, mouth, near, November, nose, now, October, only, or, pear, pianist, piece, player, police officer, post office, potato, pretty, problem, rabbit, raise, rest, roll, runny nose, save, scientist, second, sell, send, September, shoot, short, should, sick, sixth, skirt, smile, soccer player, stomachache, stop, story, strong, subway, subway station, talk, taxi, tell, than, then, thin, think, third, ticket, toothache, turn off, upset, use, violin, wait, waste, wedding, week, when, which, why, will, wind, would, write, writer.

I want to be a cook. It is on the first floor. He has big eyes. It is January 1st. I am faster than you. I have a headache. Exercise every day. wash your hands. eat healthy food How tall are you? How long. Did you turn off the light? save the earth. save energy You have to stand behind the line. Buy the ticket. Turn off your phone. Send messages. Wait in line. How can I get to the airport? in front of. Would you like to help people in need? sell clothes. raise money. make baby hats. I am happy because I bought new shoes. I am upset because my sister ate my cookies. I am busy because I am doing my homework. I am sad because my dog is sick. I will learn dancing. Study Chinese. Join the tennis club. Visit France. Exercise every day.

以上のように、1レッスンの内容が非常に豊富なのが分かる。ページ数にして、19ページにわたっている。その中には、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を多く取り入れている。しかし、書く練習は文章の途中に適切な語句を入れる程度で、全文を書くものはない。3年生のテキストと同じように、一つのキーセンテンスをいろんなドリルを使って行っており、文法事項の定着を図ろうとしている。文法中心のテキストではないが、十分に文法事項が身につくように工夫されている。このテキストを使ってさらに英語教育を発展させるには、自由に単文

や短いストーリーが書けることが望まれる。また、一つのテーマや物についてプレゼンをする練習問題や他人の発表に対して意見を言うようなドリルがもう少しあればさらにレベルアップすることだろう。

この小学校では放課後に「特技・適性教育」の特別授業を行っており、有料ではあるがほとんどの子ども達がそれを受講している。テキストは上述の *All Together* 1～6 である。内容についてはここでは省略するが、アメリカで本であり、全て英語で書かれている。

4. 今後の英語教育への展望

全国で60万人が受験すると言われる修学能力試験（日本の大学入試センター試験に相当）に向けて、熾烈な受験競争がある韓国では、英語の4技能のうち「読む」「聞く」の試験にむけの英語教育に多くの労力が注がれている。「話す」「書く」を含めた4技能の重視はだれもが認めるところではあるが、それを大学入試等で公平に図ることが難しいのは日本の状況と似ている。受験競争が激しいので、韓国では TOEIC のペーパーの成績は高いが、「英語を実際に使えない人が多い」と聞く。だから、大学に進学してから、又は社会にでてから英会話を学び直す若者が多いという。

その社会のニーズを先取りして、花郎小学校では、「聞く」「話す」のコミュニケーション能力の育成を中心に授業をしている。しかし、保護者からの要望にあるように、受験一辺倒の文法を重視した英語教育ではないかもしれないが、花郎小学校が使っている教科書は重要構文を多くの練習問題の中でその定着を図っている。ただ、テキストの中ではまとまった英作文が少ない。そして、放課後の「特技・適性教育」に行っている補習授業では、アメリカのテキストを用い、ハングル文字は全く書かれていない。これを英語ネイティブの先生が教えているのだから、アメリカの小学校で行っている授業に近いものが期待できる。この教育方法で足りないところを指摘するとすれば、ここでは英語そのものを教えているが、英語を使って他の教科を教えるてはいないことである。つまり、イマージョン²（塩見和広、2016）教育や CLIL³を使った授業を行うと もっと実用的な英語力が付くと言えるだろうと考える。花郎小学校には英語の専科教員が10人、英語のネイティブ教員が10人もいるのだから、そういった先生が少しやり方を変えるだけで大学入試に対応し、しかもコミュニケーション能力が身に着く英語教育が行えるのではないかと考える。今後の花郎小学校の英語教育に大いに期待している。

おわりに

2016年と2019年にソウル女子大学付属花郎小学校の英語教育を見学できたのは、神戸親和女子大学とソウル女子大学が協定校であったからである。その関係で花郎小学校とも交流があった。私がこの大学に赴任する前は、教員が花郎小学校へ学生を連れて行っていたが、本学の交際交流の見直しのため、花郎小学校での素晴らしい英語教育を学生が体験することができなくなっている。2011年から5、6年生で導入された英語活動は、2020年からは3、4年生では英語活動として、5、6年生では英語科として導入されようとしている。勿論日本の公立小学校で、花郎小学校が行っていることをそのまま実施することはできないが、その中のいくつかの教授法や担当教員の姿勢から学ぶことは多い。そして、花郎小学校の取り組みでさえ課題も見

えている。10年先に日本が直面するであろう課題を今から捉えておくことは、日本の英語教育にとっても貴重な指針となることだろう。

注

- 1 TESOL は teachers of English to Speakers of Other Languages 他言語話者に英語を教える教師の会の略。
- 2 イマージョン教育とは、外国語をあくまで手段として、言語以外の教科を学ぶ外国語学習方法のことである。日本では、加藤学園暁秀初等学校が日本で最初のイマージョンの学校として有名。その後ぐんま国際アカデミー他イマージョンの学校ができた。
- 3 CLIL は、Content and Language Integrated Learning の略称で、教科科目やテーマの内容 (content) の学習と外国語 (language) の学習を組み合わせた学習 (指導) の総称で、日本では、「クリル」あるいは「内容言語統合型学習」として呼ばれ定着しつつある。

参考文献

- 塩見和広「花郎小学校の英語教育」花郎小学校の訪問記録ビデオ 2019
- 山脇岳志「小学校で英語必修、その先は 韓国、指導する側の模索」朝日新聞 Globe+ 2019
<https://globe.asahi.com/article/11826804>
- 文部科学省 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語専門部会 (第9回) 議事録・配布資料
「韓国における小学校英語教育の現状と課題」2001
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/attach/_icsFiles/afieldfile/2018/01/23/1400650_001.pdf
- 韓国の文部科学省検定教科書 Elementary School ENGLISH 3 天才教育出版 2013
- 韓国の文部科学省検定教科書 Elementary School English 6 YBM 出版 2014
- 塩見和広「リッチモンド小学校の日本語イマージョン教育」神戸親和女子大学 国際教育センター紀要 第2号 2016 pp.95-104
- 塩見和広「ぐんま国際アカデミー初等部のイマージョン教育」神戸親和女子大学 国際教育研究センター紀要 第3号 2017 pp.55-74